

1 学校評価（教職員自己評価）より

(1) 実施時期と方法

- 9月下旬（上半期）と2月上旬（下半期）の年間2回実施。
- 9領域、45項目をA・B・C・Dの4段階及び自由記述により評価。
- C・Dの評価については、改善案を提示する。
- 記述項目については、各主任より説明があり、検討事項については全教職員で話し合う。

(2) 自己評価（下半期）まとめ

	自己項目	評価 (%)				
		A	B	C	D	
教育課程	各教科等の授業（時数の確保、内容の指導）の充実を図れたか。	25	72	3	0	
	校時表・時間割・月行事・週行事に無理はなかったか。	6	88	6	0	
	週案を活用し、教科の時間のバランスをとりながら授業を計画的に行うことができたか。	34	66	0	0	
	学校の教育目標・学級目標・教科経営目標等にせまれる教育活動ができたか。（授業のユニバーサルデザイン化）	12	88	0	0	
研修	研修計画は適切であったか。	13	81	6	0	
	本校の研究主題や自己の研究テーマにそって研修が積み上げられたか。	9	82	9	0	
	教材研究は十分に行えたか。	15	66	19	0	
	研究授業・協議を通して、自分の力量を高めることができたか。	19	69	9	3	
	専科・TT等の連携はよかったか。	31	69	0	0	
生徒指導	児童が社会生活において必要となる資質や能力を高めることができるよう、指導することができたか。	16	84	0	0	
	なかよし7カ条を身に付けるように指導し、規範意識を高めることができたか。	立腰	9	75	16	0
		黙って掃除	34	60	6	0
		静かに移動	22	65	13	0
		チャイムで行動	22	75	3	0
		元気にあいさつ	28	63	9	0
		「はいっ」の返事	3	75	22	0
		履物の整頓	28	72	0	0
	いじめ・不登校問題・その他の問題行動に対し、未然防止に努めることができたか。	19	78	3	0	
	いじめ、不登校問題、その他の問題行動の事案が起こったとき、迅速に対応できたか。	28	69	3	0	
配慮を要する児童に対して、有効な手立てをとることができたか。	16	78	6	0		
報告・連絡・相談を適切に行うことができたか。	56	44	0	0		

	自己項目	評価 (%)				
		A	B	C	D	
人権・同和教育	人権意識を高めるための研修に努めたか。	18	82	0	0	
	各教科等それぞれの特質に応じ、計画的・系統的な学習を推進できたか。	16	81	3	0	
	自他の大切さを認めながら、支え合い、助け合う仲間づくりに努めたか。	34	63	3	0	
	なかよしの時間を計画的に進めることができたか。	13	83	0	4	
	なかまファイルを有効に活用できたか。	18	82	0	0	
特別活動	人権・同和教育ワンポイント研修のもち方は適切であったか。	24	76	0	0	
	学級活動において、話し合い活動や係活動を活発に行うことができたか。	23	73	4	0	
	行事等への参加で、特活のねらいが達成されたか。	23	74	3	0	
道徳教育	特別活動は、児童主体で活動を進めていくものだとすることを児童に意識付けたか。	13	81	6	0	
	年間計画通りに実施できたか。	36	64	0	0	
	授業のユニバーサルデザイン化の視点を取り入れた授業づくりに努めたか。	16	84	0	0	
	「考え、議論する道徳」への転換を目指し、授業改善に努めているか。	14	82	4	0	
	特別の教科・道徳についての自己研修に努めたか。	7	90	3	0	
	道徳的環境の整備に努めているか。(教室・校舎内掲示等)	13	87	0	0	
	道徳科の授業での取組の様子を学年・学級だより、道徳ファイルを通して、保護者に積極的に発信できたか。	13	79	4	4	
特別支援教育	道徳科の評価に向けて、一人一人の見取りを行うことができたか。	18	82	0	0	
	特別支援学級の児童との交流が主体的に図られているか。	担任(教師自身)	34	66	0	0
		クラスの児童	14	83	3	0
	学級内にいる支援が必要な子の学習や行動のつまずきに気づき、適切な支援をすることができたか。	16	81	3	0	
特別支援教育コーディネーターとの連携が図られたか。	19	75	6	0		
学年間で、支援が必要な児童の情報が共有できたか。	45	52	3	0		
情報教育	個人情報・成績等を机上に置きっぱなしにしていないか。	56	41	3	0	
	校務系のデータが外に出ないように守られているか。	75	25	0	0	
	児童の一人一台端末が安全に保管されているか。	53	44	3	0	
	一人一台端末を活用し、双方向的、協働的な学習を日常的に行うことができたか。	10	87	3	0	
	プログラミング教育を、年間指導計画に基づいて計画的に行っているか。	3	84	13	0	
	発達段階に応じた情報モラル教育を、「カリキュラムチェックリスト」に基づいて学級で指導しているか。	16	84	0	0	
保健	健康観察を十分に行い、朝の会終了後、提出できたか。	72	28	0	0	
	学校管理下における傷病について、家庭への連絡を適切に行ったか。	66	34	0	0	
	けが防止のために呼び掛けができたか。	53	47	0	0	
	環境衛生面に気を配って、教育活動を行えたか。 (手洗い、うがい、ハンカチ、ティッシュ、姿勢、照明等)	47	53	0	0	

(3) 成果 (○) と課題及び改善策等 (◆)

教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症対策を考慮した上で、早めの対策がとれていた。</li> <li>○ 行事の延期等によって行事との間隔が詰まったり重なったりして大変だった中で、工夫してできた。</li> <li>◆ 水曜日については、低学年の下校指導後、余裕を持ってクラブや委員会が始められるように検討する。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に授業研究を行い提案授業について研究することで、学年団で事前授業を行うなど研修を深められた。また、全体の力量も高めることができた。</li> <li>◆ 学年間で、教材教具を共有する。ワークシートなど作成した電子データの、共有ドライブでの確実な保管を行う。</li> <li>◆ 研修内容について年度初めや学期終わりに要望を聞き、可能な限り実施する。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「黙って掃除」と「履物の整頓」が全校的によくできるようになっている。</li> <li>○ いじめ・不登校・その他の問題行動等の対応については、迅速に報告・連絡・相談などがしっかりできている。</li> <li>◆ 配慮が必要な児童への手立てが十分ではない。教員間での情報交換を密にし、指導に生かしていく。</li> </ul>
人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内研修では定期的に人権について考える機会があり良かった。様々な切り口からの研修があったので、指導の際に役立てられた。</li> <li>◆ 学級なかよしを、朝の時間には教室内で、学級活動の時間や昼休みには運動場で行うことを中心に実施してはどうか。</li> <li>◆ 人権・同和教育年間計画を見直し、取り上げている教材は計画的に確実に実施する。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級会などの場面を通じて、児童が主体的に議論し、自治的な運営ができる場面が多々あった。係活動では、児童が活動内容を工夫できていた。</li> <li>○ 各委員会がよく活動しており、主体的に動ける児童が増えている。</li> <li>◆ 代表委員会の時間を委員会の時間とは別に設定し、運営委員会の児童が活躍できる場をつくっていく。</li> </ul>
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果的な指導ができるよう学年で教材研究をして授業に臨んだり、授業参観をしたりすることができた。また、研究授業を通じて道徳の授業について深めることができた。</li> <li>◆ 「考え、議論する道徳」について「改善の余地あり」が増えているのは、より研究したいということの表れであろう。様々な場面で考えを深め合う活動を続けていく。</li> <li>◆ 学校全体で道徳についての情報交換ができていないので、工夫して場を設ける。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修を通して、教職員の「愛着障害」についての認識が深まり、児童に対する支援に生かすことができた。</li> <li>◆ 配慮を要する児童の気になる様子等を早めに情報交換し、適正な就学指導を行う。</li> <li>◆ 入級指導については、コーディネーターを中心として計画的に進めていく。</li> </ul>
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「年間指導計画」「情報モラルカリキュラムチェックリスト」の活用を通して、児童の指導に役立てることができ始めた。</li> <li>◆ PCや紙媒体における個人情報の取り扱いについての教職員の意識を、より高めていく。</li> <li>◆ 一人一台端末を常に持ち帰るようになったことで、故障が増えている。端末を大切にしようとする意識が高まるように、声掛け等を工夫する。</li> </ul>
学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症対策として、手洗いや換気、マスクの正しい着用等、積極的に呼び掛けることができた。</li> <li>◆ 児童の健康状態を正確に把握するため、クラス全員の健康観察や出席状況等、確実に記録しておく必要がある。</li> <li>◆ 今後も感染症対策について教職員全体で意識統一を行い、組織的に対策を進めていく。</li> </ul>